

	1	2	3	4	5
項目	学習指導について ・授業研究等	特別活動について ・部活動や学校行事	生徒指導について ・基本的生活習慣等	進路指導について ・進路行事、進路情報等	校務一般について ・校務分掌、PTA、同窓会、地域との連携等
学校関係者のご意見・ご感想・ご提言等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAの手法で活動を活性化させるには、KPIを深く追求すべきと考える。</li> <li>・特に芸術科については、とても充実した指導をされている。今後も大切に続けていただきたい。</li> <li>・各教科にしっかりと手立てが掲げられ、それぞれの成果を出していると思いました。</li> <li>・ひとり1台のタブレットの利用が可能となり、ICTによる新たな学習がスタートしている点が評価できる。</li> <li>・仕事と勉学を抱えている定時制の生徒にとって、限られた時間の有効活用のため、また授業改善・学力向上のため1人1台タブレットをもち、ICTを活用することは、とても重要だと感じました。</li> <li>・個人差の大きさや少ない人数での学習など難しい面が多いと思います。カリキュラムをベースにしながらも個に沿った指導をお願いいたします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COVID-19の厳しい制約の中で、工夫をされており、敬意を表する。生徒たちの自発的なアイデアなどを吸い上げやすい状況でもあるので、期待したい。</li> <li>・人数が少ないからこそ、変更対応できた行事でも、とても有意義だったと思う。孤独になりがちなコロナ禍で人間関係を大切に、色々試みてほしい。</li> <li>・コロナ禍のため、いろいろな制限があって、不満などが聞こえてくることも多いのではないのでしょうか。その対応も大変ではないかと思われます。</li> <li>・コロナ禍中、工夫して行事が実施された。ソーシャルスキルやコミュニケーション能力を生涯にわたり向上させるよう教える意義は大きい。</li> <li>・部活動や学校行事を通して生徒の社会性を育てることは大事だと思います。但し、定時制の在籍人数が少なく、集団のサイズが小さいので、学年を跨いだ縦割りの活用は大切だと思います。</li> <li>・コロナ禍で行事等の実施が難しい中、生徒同士のふれあいや体験をつくり出していることがうかがえました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標と手段と目的とを考えてあり、PDCAサイクルによる活動の活性化の例として分かり易かった。人員の増強の要請への説得力がある。</li> <li>・定時の心得は生徒と共に検討改定されることが、よい方向と考える。</li> <li>・先生方の声かけや情報共有のおかげで問題なく過ごせたということはあると思います。</li> <li>・生育歴に問題を抱える生徒は発達に障害がないか、特性を詳細に観察する必要あり。その様な生徒は環境不適應や自尊感情の回復を目標とした「教え」でカバーできる。</li> <li>・コグトレ(認知機能向上トレーニング)という言葉を知りました。この支援プログラムは、人数が少ないことの特徴を生かしてとはいえ、一人ひとりに対応して行うには、先生方の仕事量が多く大変だと思いますが、結果、トレーニングを始めて、生徒の苦手な面を職員が共有できたとのこと。よって個々への適切な指導につながるものと思います。</li> <li>・生徒自身に内規や校則を考えさせる場はとても大切だと思います。今後も生徒自身が「定時の心得」を考える方向性を大切にしていきたいと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度の活動状況の評価は、「B」であるが、「A」が具体的に分かり易く記載されており、良好である。</li> <li>・先生方の努力の成果が出ている。</li> <li>・就職希望者、進学希望者が全員、内定、合格が決まったということは素晴らしいことと思われます。先生方の日頃からのご指導のおかげと思います。</li> <li>・生徒個々の特性にあった生涯続けられる仕事を時間がかかっても見つけて欲しい。アルバイトは過度の責任感や義理を感じない程度にした方がいい。本業ではないので。</li> <li>・今年度、卒業生6名中、短大1名、専門学校3名、県内就職2名と、100%全員進路が確定していることは、定時制における基本的生活習慣を確立させようとしている進路指導の賜物と思います。</li> <li>・まずは、全員の進路が決定したこと、本当に良かったと思います。先生方が生徒としっかり向き合っ取り組まれたことがわかりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAを廻す基本的な考え方が全日制より優れている。「P」に理念的目標に加えて、「手立て」を加えるのはその現れ。できるだけ、KPIも表記されたい。</li> <li>・生徒アンケートでは、現状に満足している項目が多いのに、保護者は少々辛口のようなのだが、行事等に参加できないことと、生徒が家庭内でうまく伝えられていないように考える。</li> <li>・こういった状況下、地域との連携を持ったり、PTA活動などがなかなかできないのではないのでしょうか。</li> <li>・コロナ禍中でもチームワークよく全体で校務が実施されている。</li> <li>・「自己実現」と「働くこと」を同時に結びつけながら、それを支援するキャリア教育は本当に難しいことだと思いますが、地域・家庭・同窓会などとの連携、さらには企業と連携してインターンシップなどを実施してキャリア教育を充実させることは是非継続してほしいと思います。本高定時制の重要な役割だと思います。</li> <li>・PTA総会の出席者がわずかでも増加していることがうれしい限りです。定時制の生徒だからこそ、保護者との連携が必要な場面があると思います。</li> </ul>
評価	B	B	A	A	A

《 ABC評価 》 A：具体的な活動がなされ、目標を達成できた。  
 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。  
 C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。

	1	2	3	4	5
項目	学習指導について (教務部・研修部・各教科等)	特別活動について (特別活動部・キャリア教育推進委員会・支援委員会等)	生徒指導について (生徒指導部・保健部・支援委員会等)	進路指導について (進路指導部・支援委員会・各学年部等)	校務一般について (総務部・校内LAN運用管理委員会等)
重点目標等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績処理をより効率的に行う。</li> <li>・新学習指導要領への準備を進める。</li> <li>・ICT機器の効果的な活用を進める。</li> <li>・授業改善に向けた情報発信に努める。</li> <li>・基礎・基本を定着させる。</li> <li>・言語活動を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活様式に合った行事の企画・運営を行う。</li> <li>・本課程におけるキャリア教育のあり方を検討する。</li> <li>・生徒の自己理解を促す活動を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「定時の心得」を改訂し、生徒の自己管理・自己責任の意識の醸成を図る。</li> <li>・生徒指導部内規の早期整備を図る。</li> <li>・基本的生活習慣の確立に向けた指導を充実させる。</li> <li>・思いやりの気持ちを育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業予定者全員の進路を決定させる。</li> <li>・関係機関と連携した進路指導を行う。</li> <li>・進路について真剣に考え、進路目標を明確にするための準備をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAや教育振興会との連携を図り、教育環境の整備充実と定時制の活性化に努める。</li> <li>・各分掌間の円滑な連絡調整を図る。</li> <li>・校内LANの安定した運用を行う。</li> <li>・図書コーナーの利用の促進と管理を行う。</li> </ul>
実施状況・達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績処理の方法は順次変更している。</li> <li>・新1年生の観点別の評価計画案を作成した。</li> <li>・ICT機器の活用については、良い活用があれば声を掛け合って共有している。</li> <li>・授業参観は予定通り実施できた。</li> <li>・授業アンケートを記述式に変更して実施した。</li> <li>・タブレットを用いてレポート作成や資料を協同して読解する作業を実施した。</li> <li>・習熟度クラス編成やTTを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外学習としてのなべっこは中止になったが、代替行事として校内でのなべっこを実施した。</li> <li>・ミニ運動会や球技大会、生徒会誌の作成で生徒会執行部が中心となって活動した。</li> <li>・キャリア・パスポートの活用はされているが、改良が必要である。</li> <li>・教育相談週間やアルバイト事業所訪問後の面談、インターンシップの事前事後指導等で、生徒の自己理解を促す働きかけを行った。</li> <li>・E-サポート、障がい者基幹支援センターと保護者とのケース会議を実施し保護者の子ども理解を促し、支援につなげることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「定時の心得」を年度初めの生徒総会で改訂することができた。</li> <li>・周辺高校の内規、校則の収集をすることができた。</li> <li>・生徒観察と情報共有を職員朝礼や職員会議で十分できた。</li> <li>・集会やほけんだよりで健康に関する情報を継続的に発信した。</li> <li>・食に関する内容の保健講話を実施した。また、特別活動部と連携して食育につながる行事を実施した。</li> <li>・1,2年合同でSSTで人間関係について考える機会をもつことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週水曜日の情報交換により、進路活動の進捗状況を全員で共有することが容易になった。面接練習は全職員の協力を得ることができた。1月上旬までに全員の進路が決定した。</li> <li>・職場定着支援員と生徒が面談する機会を頻繁に設定し、生徒の意識向上を図った。</li> <li>・支援が必要な生徒に、支援委員会主導でE-サポートや職場定着支援員と協力してインターンシップを実施した。</li> <li>・将来のキャリアデザインをじっくり考えさせ、早期に準備を進めることができ、進路が決定した。</li> <li>・進路実現を目指し、計画的に夏季補習や会社見学を実施できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分掌と協力しながら各式典などをスムーズに実施できた。</li> <li>・各総会や防災訓練を実施することができた。</li> <li>・PTAとしての情報発信や広報活動は不十分だった。</li> <li>・故障を確認してHUBを交換した。</li> <li>・ICT活用の研修を行った。</li> <li>・ICT機器は比較的活発な活用がなされている。</li> <li>・授業の中で図書の活用がされている様子も見られるが、まだまだ少ない。</li> </ul>
評価	B	B	B	B	B
次年度への提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新指導要領記載内容の準備と確認</li> <li>・学習評価・成績の記録の調整と運用</li> <li>・高校入試新制度の準備と実施</li> <li>・授業アンケートのICT化</li> <li>・電子黒板やタブレットの効果的な活用方法の研究</li> <li>・基礎を重視しながらも、発表や表現の機会の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の取捨選択</li> <li>・キャリア・パスポートの活用状況の共有</li> <li>・個別の支援の工夫</li> <li>・保護者面談の継続</li> <li>・地域の支援機関との更なる連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「定時の心得」や内規について、本校の実情を考慮しての作成</li> <li>・生徒指導部の体制の強化</li> <li>・特別活動部と連携して、食に関する指導の実施</li> <li>・縦割り活動の提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年副担任がインターンシップを担当</li> <li>・学校推薦のあり方</li> <li>・令和5年度実施の修学旅行に向けた人間関係づくりの工夫</li> <li>・外部機関や職場定着支援員との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育振興会やPTA活動の活性化のためHP等を活用しながら積極的な情報発信や広報活動の実施</li> <li>・防災マニュアルの計画的な更新</li> <li>・タブレット等ICT機器の有効活用の研究の継続</li> <li>・図書の活用の推進</li> </ul>